



令和5年1月1日現在

世帯数	997戸
人口	2,311人
男	1,149人
女	1,162人

年頭のごあいさつ

内田地区町会連合会長 横山 峰敏



明けましておめでとうございます。

新しい年をご家族皆様で迎えになられたことと思います。

コロナ感染症は現在第8波で昨年に引き続き町会活動も制約され思うに任せない状況でした。

昨年をふりかえると、感染症レベルの引上げでササラまつりは中止、打ち上げ花火のみ実施、大運動会は前年に続き中止。2年に1度の敬老会も中止とせざるを得ませんでした。地区文化祭は前日に感染レベルが上がりましたが、

入念な準備や出演者・鑑賞者の理解のおかげで感染防止対策をして、多くのグループの参加によるひろばサークル発表、大勢の皆さんの力作揃いの展示物など、華やかな行事が実施でき嬉しく思います。

ササラまつりの関係では、今後の伝承のため三味線を3棒購入しました。興味のある方は是非触れてみてください。

松本マラソンは内田地区がコースの一部に含まれ、アルプスの見える環境の中を川内優輝選手が颯爽と走り抜けて行きました。

行政への要請及び懇談では、今までの懇談事項のその後について検証しました。公園の管理、産業廃棄物業者への指導状況・違法建築物につ

いて意見が交わされました。安全で暮らしやすい環境への指導強化について確認がされました。

また、県に要望していた六道交差点改良・沢田橋からの歩道の設置は測量や設計が進んでいます。舟沢川の改良・塩沢川堤防道路の損傷個所の修繕は一部改良と修繕が終了して今までどおり利用がされています。

松本カントリークラブ所有地に太陽光発電施設の建設が計画されました。松本カントリークラブ社長の出席のもと建設業者から施設内容の説明を聞きました。環境への影響や防災の心配、施設の管理など懸念される事柄について意見交換しました。完成は7月末の予定です。関心を持って見守ってください。

予防接種が進み、飲食、コンサート、イベント、旅行など制限の緩和がされていますが、変わらずマスク・手指の消毒・換気・3密対策の感染予防をしながら地区の運営をしてまいります。一層のご協力をお願いいたします。



民生児童委員さんがかわりました！



会計 中山 範子
(3・7町会担当)

副会長 米澤 久雄
(8・9町会担当)

会長 百瀬 博久
(1・4・6町会担当)

中畠 佳代子
(2・5町会担当)

丸山 紀子
(主任児童委員)

昨年11月に内田地区の民生委員・児童委員の任期が満了となり、2名(民生児童委員)が再任され、3名(民生児童委員2名・主任児童委員1名)が新任となりました。

民生児童委員は、地域の身近な相談役として、住民の困りごとや心配事の相談、援助や見守り活動を行うなど、子どもや子育てに関する支援を行い、必要な支援を受けられるよう、行政の専門機関への「つなぎ役」としての役割を担っております。

主任児童委員としてお世話になります。第5町会の丸山紀子と申します。

内田地区の皆様方からたくさんのパワーをいただき、活動が円滑に進められるよう努めます。よろしく願いいたします。

内田地区主任児童委員

丸山 紀子

今後3年間、皆様のご協



▲安曇野ちひろ美術館の前でパシャリ

11月21日(月)、前日の雨も朝には上がり、まあまあの天気になり、心もウキウキ、北へ向かって出発です。恒例の自己紹介も終わる頃には安曇野からアルプスを眺めると厚い雲海が覆っている中、時折山の頭を見せて我々を歓迎している様です。

そうこうしている間にのどかな田園の中、広大な庭園が現れ、安曇野ちひろ美術館に着きました。優しい色使いの中にふつくとした子どもの顔には心が癒されて、満喫しつつ美術館を後にし、一番の楽しみの大王さび農場に着きました。私は早速わさびソフトを食べ、農場散策し、お昼の会場へ。摺りたてのわさ

文藝芸術 文化研究 安曇野ちひろ美術館・白馬三枝美術館

びなどが並んで2杯目のわさび茶漬、それはそれはおいしかったです。お腹いっぱい、暇も弛んできた時、ドライバースさんの案内で裏道を通ったり、早春賦の碑を見たりしながら白馬へ。

明治時代の洋館を彷彿とさせる白馬三枝美術館。何かしら怪しい雰囲気の中にはワンちゃんがお出迎え。館長の三枝さんは画家で絵画一つ一つに熱を入れて説明してくださいました。足立真一郎、雅子様のおじい様の江頭豊、山下清、池田満寿夫、高木春太郎等々の名前がずらり。

時間もないので、早々にお礼を言い白馬を後にしました。「芸術家はお金がないと世に出られない」の言葉に昔の絵師は実家が金持ちだと納得しました。少し予定時間よりも遅れてしまいましたが、芸術の秋にふさわしく、とても有意義で心満たされる日になったと参加者13名の思いです。事務局の方々の計画実行に感謝いたします。

みなさん次回ぜひ一緒に!!

第3町会 中山 範子



▲蒸かし饅頭づくり



▲しめ縄づくり

12月3日(土)、「しめ縄・蒸かし饅頭づくり(内田公民館主催・協力子ども会育成会)」を開催しました。講師は、古幡進一さん、丸山幸英さん、農村女性協議会の皆さんです。

しめ縄・蒸かし 饅頭づくり

重要文化財馬場家住宅に内田陶芸クラブの方の作品が展示されています

▶花器、香炉、水差しなどの作品がご覧いただけます。



新年明けましておめでとう
ございます。

つれづれ編集記

昨年末松本市コロナ感染警戒レベル「5」が続くなか、世界ではサッカーワールドカップ(W杯)カタール大会が開催されました。私も日本代表を応援しようと放送画面を見ていたのですが、マスク姿の観客はほとんど見当たらず、サポーターによる大声援がスタジアムを満たしていました。

2021年夏の東京オリンピックでは大半の会場が無観客で、22年北京冬季五輪でも厳しい感染対策が施されていました。カタールではW杯直前に感染対策を大幅に緩和しており、マスク着用義務は医療機関のみのようでPCR検査も不要で会場入りできたようです。

世界では「アフターコロナ」、日本では「ウイズコロナ」。住んでいる地域により考え方が変わり感染対策のあり方には賛否両論ありますが、コロナウィルスの猛威が減少し、1日でも早く通常の生活に戻れることを願っています。

第2町会 越智 正行